



Manage Rules

- [ルールとアクションの設定（1 ページ）](#)
- [ロケーションベースの通知に対するデバイスの選択（6 ページ）](#)

ルールとアクションの設定

資産ロケータルールエンジンでは、ロケーションおよび環境モニタリングを使用してアセットを追跡し続けることが可能です。ルールでは、関連付けられたタグのロケーションとステータスを使用してアセットが追跡され続けます。アセットの移動、アセットのロケーションの変更、特定の建物、フロア、ゾーン（論理的な領域）へのアセットの出入りなどの条件や、温度、湿度、（関連するタグの）電池残量などのアセット条件の変更をチェックする、さまざまなタイプのルールを設定することができます。条件が満たされると、ルールはSMS、電子メール、HTTP 通知の送信、さらにはアセット属性の変更などのアクションをトリガーします。

資産ロケータルールは、いつでも設定および変更できます。資産ロケータルールは、手動操作を大幅に節約し、アセットレコードの正確性と完全な準拠状況に関してビジネスをより確実にすることを目的としています。

以下は、ルールを使用したいいくつかのユースケースの例です。

- [Temperature] : アセットに取り付けられたタグの温度が、ある温度を下回ったまたは上回った場合、またはある温度の範囲内または範囲外になった場合に通知を送信します
- [Battery] : アセットに取り付けられたタグの電池残量が、あるパーセンテージレベルを下回ったまたは上回った場合、またはあるパーセンテージレベルの範囲内または範囲外になった場合に通知を送信します。
- [Humidity] : アセットに取り付けられたタグの湿度が、あるパーセンテージレベルを下回ったまたは上回った場合、またはあるパーセンテージレベルの範囲内または範囲外になった場合に通知を送信します
- [Missing] : アセットに取り付けられたタグが通信不能な場合に通知を送信します。また、アセットやタグが再度表示された場合に通知を送信します。

- **[Location Dwell]** : アセットに取り付けられたタグが、設定されたロケーション内（キャンパス、建物、フロア、ゾーン、またはチョークポイントなど）にある場合に、通知を送信します。
- **[Location Entrance]** : アセットに取り付けられたタグが、特定のロケーションから特定のロケーションに入った場合に、通知を送信します。ロケーションは、キャンパス、建物、フロア、ゾーン、またはチョークポイントなどです。この通知では、両方の場所が異なる必要があることに注意してください。
- **[Location Exit]** : アセットに取り付けられたタグが、特定のロケーションから特定のロケーションに出た場合に、通知を送信します。ロケーションは、キャンパス、建物、フロア、ゾーン、またはチョークポイントなどです。この通知では、両方の場所が異なる必要があることに注意してください。
- **[Button Press]** : タグ（アセットに取り付けられている）の緊急ボタンが押されたときに、タグがすぐに送信されると想定して通知を送信します。
- **[Motion]** : アセットに取り付けられたタグに 1 つ以上のモーションタイプが発生したときに通知を送信します。モーションタイプは、タグベンダーによって異なります。
- **[Attribute Condition]** : 属性の値を更新し、[Locator] タブで属性の更新を確認します。アセットのステータスに基づいて、アセットにラベルを付けることができます。使用可能な属性タイプが画像に表示されます。[Assets] > [Columns] > [Add New Field] から新しい属性を追加できます。

手順

ステップ 1 左側のナビゲーションウィンドウで、[Configure] > [Rules] > [Add] をクリックします。

ステップ 2 ルールの [名前 (Name)] を入力します。これは、SMS、電子メール、API、またはシステムアラートで送信される通知のコンテンツで使用されます。

ステップ 3 [Priority] を選択します。

ステップ 4 ルールの説明を入力します。

ステップ 5 [Enable] ボタンをクリックして、ルールを有効化または無効化します。

ステップ 6 （任意） [Advanced] ボタンをクリックして [ASSET FILTER] ペインを有効にすると、ルールの範囲を特定のカテゴリ、部門、またはアセットに制限できます。無効にした場合、ルールは、すべてのカテゴリ、部門、またはアセットに適用されます。

a) [ASSET FILTER] ペインで、ルールを適用する **カテゴリ、部門、または特定のアセット** を選択します。

ステップ 7 ルールを適用する条件を選択します。

- **[Temperature]** : アセットに取り付けられたタグの温度が、ある温度を下回ったまたは上回った場合、またはある温度の範囲内または範囲外になった場合に通知されます。サポートされている単位は、摂氏と華氏です。
- **[Humidity]** : アセットに取り付けられたタグの湿度が、あるパーセンテージレベルを下回ったまたは上回った場合、またはあるパーセンテージレベルの範囲内または範囲外になった場合に通知されます。

- [Battery] : アセットに取り付けられたタグの電池残量が、あるパーセンテージレベルを下回ったまたは上回った場合、またはあるパーセンテージレベルの範囲内または範囲外になった場合に通知されます。
- [Attribute] : 属性の値に基づいて通知されます。

(注)

属性は、日時形式をサポートします。

- [Missing] : アセットに取り付けられたタグが 5 分以上通信できない場合に通知されます。アセットが再表示された場合にも通知されます。

(注)

- タグが 5 分以上検出されないと、欠落アラートが生成されます。タグが見つからないままの場合は、[Action] で設定された [Repeat Notification Every] 間隔で、別のアラートを受け取ります。
- タグが再び検出された場合、再表示アラートが生成されます。

- [Location] : アセットのロケーションに従って通知されます。

(注)

- [Location entrance] を使用して、2 つの異なるロケーション間のみを移動するアセットを追跡します。アセットがロケーションを出た後に同じロケーションに戻った場合、アラートはトリガーされません。次の例を参照してください。

1. [Location Entrance] 条件は、**From** 建物 B **To** 建物 A です。
2. アセットが建物 A に入ります。
3. アセットが建物 A からしばらく離れます（たとえば、30 分または 8 時間）。
4. アセットが建物 A に戻ります。アセットは建物 B から入らなかったため、アラートはトリガーされません。

- アクションの [Repeat notification delay] 値は、ロケーションの [Exit] および [Entrance] 条件では無視されます。

- 他のすべてのロケーション条件では、[Repeat notification delay] が関連します。アセットがゾーンを離れ、ゾーンに再度入り、[Repeat notification delay] 時間が経過する前に再びゾーンを離れると、アセットが見つからないことを示す最初のアラートのみを受け取ります。次のアラートは、[Repeat notification delay] 間隔が経過した後にはのみ生成されます。以下の例は、同じことを示しています。

1. [Repeat notification delay] は、1 時間に設定されています。
2. アセットが午前 9 時に施設から退出します。アラートが生成されます。
3. アセットが午前 9 時 15 分に施設に戻ります。アラートは生成されません。
4. アセットが午前 9 時 30 分に施設から退出します。1 時間が経過するまでアラートは生成されません。

[Trigger on Chokepoints] が有効になっている場合、アラートはアセットがチョークポイントの範囲に入った場合にのみ生成されます。

- [Motion] : アセットに取り付けられたタグに1つ以上のモーションタイプが発生したときに通知されます。モーションタイプは、タグベンダーによって異なります。Centrak タグの場合、有効なタイプは [Stationary] と [Move] です。
- [Button Press] : アセットに取り付けられたタグの緊急ボタンを押すと、すぐにユーザーに通知され、タグがすぐにビーコン送信されます。ボタンタイプは、タグベンダーによって異なります。ユーザーは、必要に応じてボタンにラベルを付けることができます。以下は、資産ロケータダッシュボードでのサードパーティタグとそれぞれのマッピングのリストです。

• Aeroscout

- [Button Press] : アセットに取り付けられた Aeroscout タグのボタンを押すと、すぐにユーザーに通知されます。
- [Tampering] : アセットに取り付けられた Aeroscout タグが改ざんされると、すぐにユーザーに通知されます。

• Centrak

- [Button 1] : アセットに取り付けられた Centrak タグの緑色のボタンを押すと、すぐにユーザーに通知されます。
- [Button 2] : アセットに取り付けられた Centrak タグの黄色のボタンを押すと、すぐにユーザーに通知されます。
- [Button 3] : アセットに取り付けられた Centrak タグの赤色のボタンを押すと、すぐにユーザーに通知されます。

ステップ 8 ルール条件が発生したときに実行されるアクションの遅延を設定します。

遅延には次の2種類があります。

- [Trigger After Time] : 設定された遅延時間の経過後にのみアクションをトリガーします。次のタグの送信時に**即座に**アクションをトリガーします。このフィールドは、タグ送信期間に依存しています。
- [Trigger After Count] : 設定された数のアセットが条件を満たした後にのみアクションをトリガーします。

ステップ 9 条件が満たされた後にトリガーされるアクションを設定します。アクションには次の4種類があります。

- [Email] : 設定された頻度で電子メールを送信します。
 - [Subject] : 電子メールの見出しを入力します。
 - [Message] : 電子メールのメッセージ本文を入力します。
 - [User's Email] : 資産ロケータダッシュボードですでに設定されているアドレスを選択します。
 - [Other email addresses] : 資産ロケータダッシュボードで設定されていないアドレスを入力します。

- [Repeat notification delay] : アラートを電子メールアドレスに送信する必要がある頻度を設定します。
- [Location-based Alerting] : 資産ロケータ ダッシュボードで設定されていない電話番号を入力します。
- [SMS] : 設定された頻度で SMS を送信します。
 - [Message] : SMS のメッセージ本文を入力します。
 - [Repeat notification delay] : SMS を電話番号に送信する必要がある頻度を設定します。
 - [Users] : 検証された電話番号を持つユーザーのみがここに表示されることに注意してください。ユーザーの電話番号を検証するには、ユーザーとしてログインし、右上隅の歯車のドロップダウンから [User Settings] をクリックします。開いたページで、[Phone Validation] をクリックし、表示される手順を完了します。
 - [Location-based Alerting] : 資産ロケータ ダッシュボードで設定されていない電話番号を入力できます。これにより、個々のユーザーは、ロケーションベースのアラートを受信できます。

ただし、個々のユーザーは、資産ロケータ ダッシュボードのアカウントにログインして、アラートを受信する電話番号を選択する必要があります。[ロケーションベースの通知に対するデバイスの選択 \(6 ページ\)](#) の指示に従って操作します。

管理者は、デバイスの MAC アドレスを使用してユーザーデータを更新し、資産ロケータ ダッシュボードでユーザートラッキングを有効にする必要もあります。[ロケーションベースの通知に対するデバイスの選択 \(6 ページ\)](#) の指示に従って操作します。
- [HTTP] : 設定された URL に設定された頻度でメッセージを送信します。
 - [URL] : サーバーの URL を設定します。
 - [Message] : アラートの本文の内容を入力します。
 - [Repeat notification delay] : アラートがサーバーに送信される頻度を設定します。
 - [Disable Alerts] : 特定のルールに対するアラートの作成を無効にします。このオプションは、通知を利用するためにサードパーティのサービスに転送するときに使用できます。
- [Asset Attribute] : 属性を値で更新します。
 - [Asset Attribute] : 資産ロケータ ダッシュボードでアセットに設定されているアセット状態、静的フィールド、およびカスタムフィールドを選択します。

(注)

- 属性更新アクションのみが設定されたルールは、[Alerts] ビューでアラートをトリガーしません。
- その他のすべてのアラート（アクション：SMS、電子メール、HTTP）は、設定済みのアクションの実行に加えて、[Alerts] ビューでアラートをトリガーします。
- アラートの進行状況に基づいて [Open]、[In Progress]、[Done]、[Closed] のステータスをアラートに割り当てることができます。

- アラートに対してアクションを実行せずにアラートを閉じても、アラートがシステムから消えることはありません。クローズウィジェットでアラートを表示できます。

(注)

- タグの送信レートが1時間に1回の場合は、アクションの [Repeat notification value] を1時間以上に設定する必要があります。
- [Trigger After] および [Repeat] の通知の間隔は、タグの送信レートに依存します。

ロケーションベースの通知に対するデバイスの選択

このタスクは、個人ユーザーの電子メールアドレスまたは電話番号へのロケーションベースの通知を有効にするための前提条件です。このタスクは、ロケーションベースのアラートで設定されたルールを適切に機能させるために必要です。

手順

- ステップ1** (管理者のタスク) [User Management]>[App Users] タブから、管理者はユーザーのそれぞれの  アイコンをクリックできます。開いた [User] ダイアログボックスで、ユーザーのモバイルデバイスの名前と MAC アドレス、またはユーザーの追跡に使用するデバイスタグを入力します。
- ステップ2** (ユーザーのタスク) 資産ロケータ ダッシュボードで、資産ロケータ ユーザーは右上隅にある歯車のドロップダウンから [User Settings] をクリックする必要があります。開いたページで、[Phone Validation] ボタンをクリックします。
- ステップ3** 表示される [Phone Validation] ポップアップで、表示される手順に従います。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。